

令和6年度 第1回公有財産リフレッシュ会議 質疑概要

(令和6年10月25日開催)

議題1 公有財産最適化推進会議における審議案件について

議題2 公有財産最適化推進会議幹事会における専決案件について

議題3 公共施設等総合管理計画の改訂について

(事務局から資料に基づき説明)

【議題1について】

意見なし

【議題2について】

委員	旧職員公舎のぎくについては既に売却されたか。
事務局	現在、一般競争入札に向けて手続き中です。
委員	徳島市南仲之町についても手続き中か。隣接者からの申し出による売却か。
事務局	現在手続き中であり、隣接者からの申し出によるものです。
委員	中央こども女性相談センターの駐車場借り上げは、以前から借り上げていたものか。
事務局	本県ではこどもに対する施策に力を入れており、中央こども女性相談センターの職員数を増やしている関係から、駐車場が足りなくなっていたところ、近隣に未利用地ができたことから、新たに借りるものです。

【議題3について】

委員	「広域連携」の項目において、「各市町村の公共施設の総合管理計画推進のため、改訂や長寿命化等の技術的支援を必要に応じて行う」とある。町村においては、技術職員の確保に苦慮しているため、技術的支援には今後も積極的に取り組まれない。 また、「持続可能・機能的な配置」の項目において、「国や市町村と連携した施設の共用などを検討することにより、持続可能かつ機能的な配置の実現を図る」と
----	--

あるが、未利用財産については市町村も情報をもらって参考にできているが、共用の検討となると、まだ情報がない。県も市町村も人口減少や施設の老朽化など公共施設の利活用については同じような課題を抱えていると思うので、相互利用について、今後検討してほしい。

事務局 県の6つの合同庁舎について、築55年が過ぎようとしています。今後そのあり方を検討する中で、市町村の施設の建替などの情報をいただき、連携について検討していくといったことも考えております。

委員 市町村によって移転・建替など取り組み方は違うと思うが、新たな施設をどんどん作るというような状況ではないため、県と共用するなど、双方コストでのメリットがあるような取組は重要である。

委員 中長期的な経費の見込みの説明があったが、現計画と比べてどうなっているか。

事務局 現計画においては、耐用年数経過時に単純更新を行った場合と比較して、長寿命化対策を行った場合の効果額は、年平均約330億円の縮減効果が見込まれています。

改訂による試算では、年平均で約244億円の縮減効果が見込まれていることから、現計画に比べ約86億円削減効果が減少しているが、要因としては、主に、物価高騰や人件費の上昇に伴う経費の増加及び施設の老朽化による長寿命化対策費用の増加によるものと考えております。

長寿命化による効果を最大限生み出すためには、損傷や劣化が進行する前に、計画的に適切な管理を行うことが必要であるため、長寿命化計画である「個別施設計画」に基づき、重要性・緊急性を判断して、修繕・改修等の優先度や実施時期を決定し、「予防保全型の維持管理」を行うことでコストの縮減に努めて参ります。

委員 各施設によって、設備の修繕の時期が決まっているのか。

事務局 予防保全型の維持管理を行うため、設備の耐用年数などに応じて、中長期的に修繕・更新等の計画を立てています。

委員 修繕などの発注は、発注が重なる時期はコストが高くなるということも聞いたので、発注時期についても考慮することでコストを抑えられるのではないかと思います。